

要望書（回答）

1 市商連への財政支援について

連合会が一丸となり、市民の皆様に親しまれる賑わいのあるまちづくりに取り組んでおりますが、昨今の物価高騰や人手不足、消費行動の変化により、多くの商店街が厳しい経営環境に直面しております。この状況を打開し、商店街の持続的な発展と地域経済の活性化を図るため、昨年度開催した『キャッシュレス決済ポイント還元セール』を今後も継続して開催していきたいため、一般事業補助金を要望致します。

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

商店街が地域のにぎわいと交流の場の創出に果たす役割につきましては、日ごろよりその重要性を認識しております。「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」では、商店街の活性化に関する基本理念を定め、商店会、連合会、経済団体、市など各主体の役割を明らかにし、互いの協力の下で、商店街の地域コミュニティの担い手としての取組みを後押ししております。また、市もこの条例に基づき、商店街の経済活性化へ繋がる支援策の実施に努めているところです。

貴連合会（市商連）につきましては、商店街の活性化を行っていくうえで、商業振興における重要なパートナーとして連携が必要な団体であると認識しており、従来から財政支援を行っております。

令和6年度は、12商店街合同の市商連活性化事業として、PayPay20%戻ってくるクーポンキャンペーンを実施しており、苫小牧市イベント・環境整備等助成金の交付対象となっております。今後につきましても、同条例に規定された市の責務を果たす中での財政支援を継続するとともに、商店街加入会員数増加や事業収入による財政基盤強化に繋がる貴連合会の活動を後押ししてまいりたいと考えております。

2 駅前中心街の再生について

閉鎖してから10年以上が経過しております旧サンプラザビルが、ようやく解決に向けて動き出しました。千歳市にはラピダスが進出し近隣市町村にも波及効果が期待される中、苫小牧市の顔である駅周辺再生が急務となっております。更に来年度の市民ホール完成に伴い、駅から市民ホールまでの賑わい創出の核として旧サンプラザビルの跡地活用が大きく影響すると考えられますので、この問題の早期解決と地元商店街と協働しながら再生への歩みを進めていただくことを要望します。

【回答】（総合政策部未来創造戦略室 担当）

苫小牧駅前の再整備につきましては、苫小牧駅周辺ビジョンで示したエリアコンセプト『「創造的な学び」と「暮らし」が出会う街。』の実現に向け、具体的な駅前再整備の姿を示す「(仮称) 駅前再整備基本計画」を市とともに策定する民間事業者（パートナー事業者）を募集しており、令和7年度中の協定締結を目指しております。

(仮称) 駅前再整備基本計画の策定段階においては、今年度に供用開始予定の市民文化ホールとを結ぶウォークアブルな動線も含め、昨年設立したアーバンデザインセンター苫小牧（UDC 苫小牧）とも連携し、市民や商店街のご意見を聞きながら、ハード・ソフトあわせて取り組んでまいりたいと考えております。

3 地域商店街の要望について

- (1) 30年以上経過し歩道の劣化及び歩道タイルブロックの損傷が著しい箇所があるシンボルストリートですが、歩行者が安全に通行するために支障のない歩道の整備並びにタイルブロックの改修を要望したところ、『苫小牧都市再生コンセプトプラン』と連携した再整備との回答をいただいております。現状のままだが続くという市民が転び、怪我をしてもおかしくない状況になっていますので再度要望します。

【駅前通商店街、駅通中心商店街】

【回答】（都市建設部道路建設課、維持課 担当）

シンボルストリート（駅前本通線）は、「苫小牧市バリアフリー特定事業計画」に基づき整備を行う路線として位置付けていましたが、これまで苫小牧駅前の再整備を見据え、未着手としておりました。

令和6年3月に「苫小牧駅周辺ビジョンに基づく基本構想」が策定され、令和7年度から苫小牧駅前再整備基本計画策定に向けた取り組みが進められることから、本路線の再整備についても、これら関連施策と足並みをそろえて検討を進めてまいりたいと考えております。

なお、再整備までの間は、引き続き徒歩によるパトロールを実施して危険性や緊急性に応じ適宜補修を行い、安全かつ円滑な通行の確保に努めてまいります。今後も道路の異常などでお気づきの点がございましたら、都市建設部維持課までご連絡くださいますようお願いいたします。

- (2) 駅前再整備計画が進む中、商店街としてもウォーカブルなまちづくりを目指した議論がされております。しかし、市民が歩きたくなるような駅前通りを作り上げるには様々な施策が必要に感じます。各個店も個々の努力が必要な中ではありますが、厳しい状況が長らく続いたため、苫小牧市店舗改装補助金の他に多様な支援を要望します。

【駅前通商店街、駅通中心商店街】

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

現在は空き店舗活用補助のほか、店舗改装補助や創業サポート事業などを実施しているところでありますが、今後につきましては、現状の支援の在り方を含め、効果的な支援について、貴連合会と協議を行ってまいりたいと考えております。

- (3) 苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の対象店舗条件の中にある『旧苫小牧市中心市街地活性化基本計画に定められた区域』という箇所に対し、店舗賃借料の補助額が中心市街地と、それ以外の地域で月額15,000円の差が生じているのが現状です。各地域においても賑わい創出のためには新規出店は必然との考えから、中心市街地以外の商店街に対する補助額の引き上げを要望します。

【全商店街】

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

空き店舗活用事業補助金については、平成16年度から中心市街地を対象とした事業として開始されたものであり、平成31年度からは様々な要望を踏まえ、中心市街地以外にある空き店舗に対しても支援の対象としてきた経過がございます。

現状においては、家賃補助の上限額として中心市街地は月5万円、中心市街地以外は月3.5万円としておりますが、今後につきましては、地域のニーズに即した空き店舗活用補助金の在り方について、貴連合会と協議を行ってまいりたいと考えております。

- (4) ときわ町と澄川町の間を通る双葉3条通り（バイパス）は地域の中心道路であり地域住民や子ども達が多く利用する通りですが、歩道部分が暗すぎるため防犯面でも商店街の活気という側面からも決して良い状況とは言えません。この歩道部分に街路灯（防犯灯）を設置していただくよう苫小牧市から北海道に要請していただくことを再度要望します。

【ときわ・澄川商店会】

【回答】（市民生活部市民生活課 担当）

双葉三条通りに関する歩道への防犯灯の設置につきましては、これまでも道路管理者である室蘭建設管理部に要請しておりますが、対象箇所の道路では一定の照度が確保されており、交通には支障がないとの回答をいただいております。

今後につきましては、あらためて北海道にお伝えしてまいります。実現に向けてどのような手法があるのか、もう少し踏み込んだ話をしながら、要望してまいりたいと考えております。

- (5) 苫小牧市全体で問題視されている社会課題は、中心市街地から離れば離れるほど深刻な影響を与え地域の機能を崩壊させつつあります。駅前再整備計画が加速する今こそ、中心市街地とそれ以外の各地域との役割を明確に分け、整合性を考えなければなりません。苫小牧市内の大きな賑わい創出イベントは、そのほとんどが中心市街地で開催されておりますが、それ以外の地域でも地域特色を生かした個性豊かな素晴らしい企画がたくさんあります。そこで、地域に対する経済効果を加味した商店街イベント事業補助金の在り方の検討を要望します。

【勇払商工振興会】

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

イベント・環境整備等助成金（全13メニュー）につきましては、商店街のにぎわい創出のため、商店街等が実施するイベントなどに要する経費の一部を助成している事業です。

コロナ禍においては、イベントなどの開催を制限されたため、当該助成金の活用が難しい状況でしたが、コロナ禍以降はかつてのにぎわいを取り戻すため、各商店街において様々なイベントが開催されるようになり、貴連合会からの要望を踏まえ、商店街イベント事業の助成率を初回に限り4分の3に引き上げたところでございますが、

今後につきましては、各地域商店会のにぎわい創出に資する支援の在り方について、貴連合会と協議を行ってまいりたいと考えております。